

万九千社 立虫神社  
社報



# 神戸の郷

第六七号 令和元年神在月  
「発行」十一月吉日 代宮家

(錦田)

今季の祭 その一

## 万九千さん

全国では神無月とよばれる旧暦十月を出雲地方では神在月と呼び慣わしています。

日本中の八百万神が出雲へ参集されると伝えられるからです。

私たちの守護りする万九千社では、神々が神議りの締めくくりと直会を催し、明朝早く、諸国へとお旅立ちなさると伝えてきました。

まもなく日本中の神様が、私たちの住まいするこの土地のお宮へとお越しになります。  
皆様おそろいでお参り下さい。

十一月十三日

(水) 早朝

※旧暦の十月十七日にあたります

一、龍神祭、  
お忌み入り

龍蛇さまを先導役とし八百万神を斐伊川でお迎えする祭です。

古くから、宮司一人が人知れず行う秘儀とされ、夜明け前に斐伊川の水辺で行います。

水辺での神事が終わると、宮司は神籬(榊の木)に遷られた神々を万九千社へと御案内します。神迎への祝詞を奏上し、当社はお忌み入りとなります。

「お忌み」とは、神々の滞在や会議を邪魔しないように、忌み慎んだ

祭事や生活をすることを言います。



龍神祭の様子(撮影 中野晴生氏)

十一月  
二十一日(木)

※旧暦の十月二十五日にあたります

一、前夜祭

戸を閉ざした社殿内で宮司ほか数名が奉仕します。

明日の神等去出祭を前に、宮司ほかの奉仕者が神社に布団を持ち込んで一夜を過ごす、お籠もりの神事も行います。

これには、神々のおそばで忌み籠もること、心身の清浄を極め、靈魂を鎮める意味もあります。

十一月

二十二日(金)

※旧暦の十月二十六日にあたります

一、大祭

午後五時

湯立神楽

午後六時

神楽祭  
神等去出

神事

万九千社にとつては、一年で最も重要な祭儀です。

平成二十九年からは、明治時代以来途絶えていた「湯立神楽」を復興しました。この祭儀は、神さまの旅

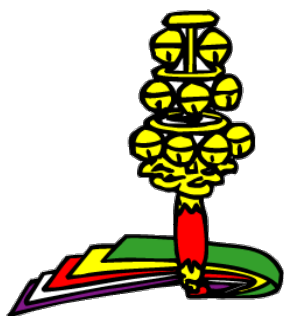
立ちを前に、神々と人々の前途、祭場、祭員、参拝者にまつわる全てのモノ、コトを清々しく祓い清めるものです。

その後、神殿祭を行い、たくさんのお供え物をして会議の締め括りと直会(なほらい)をなさる全国の神さまを静かにおもてなします。

日没頃には、神々に明朝の旅立ちの時が近づいたことをお告げする神等去出神事を行い、今後も全国の人々の幸をお守りいただくべく御祈念します。

宮司が、社殿の御扉を梅の小枝で叩きながら、「お立ち、お立ち、お立ち」と三度唱え、神々に出発が近いことをお知らせして神事を閉じます。

こののちは、神のみぞ知る時間と空間：神々の直会が始まります。私たち人間は、



新！名物

からさでそば(釜揚げ)

大祭日の午後からは、昨年から復活？しました、万九千さんの新名物、釜揚げの出雲そば：名付けて「からさでそば」店がでます。

出雲の老舗、玉木製麺さんが出店！

今季の祭 その二

十一月

二十三日(土)

午後四時より

一、あとまつり

一、立虫神社  
新嘗祭

万九千社から神々が無事に旅立たれたことを寿ぐあとまつりに合わせ

まして、今年収穫されたお米をはじめとする新穀を万九千社と立虫神社の神々にお供えする新嘗祭を齋行します。

農業はもとより諸産業繁栄の感謝を申し上げ、人々の幸福と弥栄を祈念します。

※※※お供え、お米当番の方は、午後三時までに、神社参集殿へお供えのうえ御参拝下さい。

## お知らせ

### その一

#### 【天皇陛下御即位記念の植樹】

島根県神社庁より戴いた榊一本を境内の才ノ上社と旅伏社の間に、十月初めに植樹しました。

令和の御代が弥栄でありますようお祈りします。



### その二

#### 【平成の御遷宮五周年記念 並に 天皇陛下御大典記念 立虫神社本殿玉垣の宮司寄進】

平成二十六年秋、皆さまのおかげで立虫神社本殿の正遷宮がかないました。直後に前宮司が帰幽し、早いもので五年の歳月が経ちました。

今年五月一日、天皇陛下が御即位になり、元号は令和に改まりました。

去る十月二十二日には即位礼正殿の儀が厳肅にかつ盛大に執り行われました。そして、十一月十四、十五日には、御即位後はじめて行われる一世一代の大規模な新嘗祭である、大嘗祭を陛下御自ら「国安かれ、民安かれ」の大御心で奉仕なさいます。

この佳節を記念し、宮司として神恩感謝のまごころを捧げ、令和の御代の平安と弥栄をお祈りするため、立虫神社本殿周囲の玉垣一字を寄進することに致しました。

去る十月末日、およそ一ヶ月をかけて、出雲市内の小川建築設計所さ

んの設計監理のもと、宮大工、飯塚建築さんが風雨に強い栗の木を用いて、心を込めて建てて下さいました。本殿をお護りする施設として、末永く維持していただきませうようお願いいたします。

### その三

#### 【十一月二十六日、二十七日の 万九千さん新暦祭りの取りやめ】

戦後長く親しまれてきた新暦のいわゆる万九千さんの特別祈願祭は、令和元年の今年から、全てを取り止めます。今後は旧暦のみに則り、これまでと変わらぬ古式豊かな神在祭を心して祈り継いでまいります。

《あとがき》▼今年も当社最重要の祭儀、神在祭の季節を迎えました。全国各地から多くの参拝客が訪れるものと思われれます。▼「おもてなし」を含めて、地元の皆さまの変わらぬ御理解と御協力をよろしくお願ひ申し上げます。(文責 宮司 錦田剛志)

本年は11月8日から11月23日まで行います！

神在祭  
特別祈願



神在みくじ

限定  
500枚

～八百万神さまの御神前で、明年の吉兆を占い、諸願成就を祈りましょう～



特別授与品



八百万神のおかけ  
御祈禱札



梅在祭限定梅酒  
からさでの梅酒



明年、吉兆の通じる  
神在みくじ



願いが叶う  
お守り(約二十枚)

- 1 玉串料は、受付時にお納め下さい。
- 2 係の案内で、御神殿へ特別昇殿のうえ玉串を奉ってご祈念いただきます。
- 3 神職により神占いと特別祈願がなされた「神在みくじ」、【御祈禱札】、「からさでの梅酒」を授与します。
- 4 お帰りの際、授与所にて「お守り」を授与します。約20種のうちからご希望のもの1体をお選び下さい。

◎玉串料(授与料)  
二〇〇〇円